

Teaching Assistant Guide Book

TA ガイドブック

—2016 年度 科学技術リテラシ版—

1. TA の業務内容を把握しよう.....	1
2. 「科学技術リテラシ」の授業内容に関する理解を深めよう.....	3
2.1 ミニ課題.....	3
2.2 最終課題レポート.....	5
3. 学習者への接し方を考えよう.....	12

1. TA の業務内容を把握しよう

学期開始前から学期終了時までの期間において、TA が行うべきことを把握しましょう。

時期	業務内容
学期開始前	<ul style="list-style-type: none">➤ 確認書に必要事項を記入し、事務局に提出する。➤ 担当教員と打ち合わせし、業務内容を確認する。
月初め	<ul style="list-style-type: none">➤ 実施報告書をダウンロードする。
授業前	<ul style="list-style-type: none">➤ 授業内容を確認し、準備する。「科学技術リテラシ」では以下を行うこと。<ul style="list-style-type: none">・ e ラーニングコンテンツを視聴する。・ TA 勉強会に参加する。➤ 授業に必要なものを担当教員に確認し、準備する。
授業	<ul style="list-style-type: none">➤ 担当教員に指示された業務（資料配付、機材準備など）を的確に行う。➤ 教室全体に気を配り、授業の進行をサポートする。➤ 個々の学習者の学習をサポートする（具体的なサポート内容・方法は第 2 章）。
授業後	<ul style="list-style-type: none">➤ 実施報告書に、業務内容・実働時間を記入する。➤ 授業後に行う作業（提出物の確認・フィードバックなど）を担当教員に確認し、行う。
月末	<ul style="list-style-type: none">➤ 実施報告書に、担当教員の署名・押印をもらう。➤ 実施報告書を事務局に提出する（翌月の 5 日までに必ず提出すること）。
学期終了時	<ul style="list-style-type: none">➤ 担当教員と一緒に、学期の振り返りを行う。

注意

- ・ 授業開始 5 分前には、教室に行くようにしましょう。
- ・ TA の従事時間は原則として週 8 時間以内、6 か月間で 120 時間までです。複数の授業で TA を担当している場合は、オーバーしないように気をつけましょう。

Q&A

次のような場合、どのように対応すればよいでしょうか？

- ① 講義中に学習者が遅刻してきた。
- ② 学習者に「パソコンを忘れてきました」と言われた。
- ③ 授業中、TA 同士で話していて、学習者が手を挙げているのに気づかない。
- ④ 特定の学習者だけに親切に対応する TA がいる。

ワーク1

TA として行うべきこと (Do) と、行ってはいけないこと (Don't) を、以下の3つに分けてそれぞれ挙げてみましょう。

- ・ 学習者に対する Do/Don't
- ・ 同僚 TA に対する Do/Don't
- ・ 担当教員に対する Do/Don't

2. 「科学技術リテラシ」の授業内容に関する理解を深めよう

2.1 ミニ課題

授業の第2回～第5回は、ミニ課題の作成を通して文章作成のプロセスを学びます。ミニ課題の内容は毎年変わります（テキスト参照のこと）。学習者と同じように、今年度のミニ課題に取り組んでみましょう。実際に自分でミニ課題の文章を作成することにより、学習支援するうえでの注意点がわかるようになります。

ワーク1

各手順を実際に行いながら、学習者にとって難しいと思われるところ、学習者が迷いそうなところなどを挙げてみましょう。

手順1 マップを描く

手順2 説明したい項目・内容を選ぶ

手順3 説明の順番を決める

手順4 詳細化アウトラインを作る

手順5 パラグラフ化する

手順6 推敲する

ワーク2

ワーク2で挙げた難しいところ、迷いそうなところについて、学習者から質問されたら、どのように対応しますか？ 前ページに対応の仕方を書き込んでください。

ワーク3

自分で書いたミニ課題のマップ・詳細化アウトライン・文章を、TA 同士でピア・レビューしましょう。文章は、テキストの付録「ミニ課題チェックリスト」を使ってチェックしてください。

ワーク4

以下の手順で、学習者の文章を検討しましょう。

- ① **Manaba** に提出された学習者の文章から 5 編を選んでダウンロードし、印刷する。どの文章でも **OK**。
- ② ミニ課題チェックリストを使ってチェックする。
- ③ 良い点、問題点、修正案を考え、書き込む。
- ④ **TA 勉強会** でピア・レビューする。

2.2 最終課題レポート

授業の第6回～第14回は、最終課題レポートを作成します。最終課題のテーマは学習者によって異なります。作成のプロセスはミニ課題作成と同様です。各プロセスごとに、学習支援に必要な知識・スキルを習得しましょう。

ワーク5

以下の手順で、学習者の最終課題レポートのテーマを検討しましょう。

- ① Manaba への提出物からテーマを3つ選んでダウンロードし、印刷する。
- ② テーマの「科学技術」×「対象」×「意味づけ」を検討し、良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。

ロールプレイ1

ワーク5でダウンロードしたテーマについて、以下の手順でロールプレイを行きましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役はテーマについて説明し、TA 役に相談する。観察者は2人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を3人で振り返る。
- ④ テーマについてアドバイスする際の注意点を挙げる。

Q&A

マップ作成について、学習者から以下の相談を受けました。どのように対応すればよいでしょうか？

- ① マップに書くことがありません。
- ② マップをきれいに書くことができません。
- ③ どこまでくわしくマップに書けばよいかわかりません。

ワーク6

以下の手順で、学習者の最終課題レポートの主張文を検討しましょう。

- ① Manaba への提出物から主張文を 3 つ選んでダウンロードし、印刷する。
- ② 主張文について良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。

ロールプレイ2

ワーク 6 でダウンロードした主張文について、以下の手順でロールプレイを行いましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役は主張文について説明し、TA 役に相談する。観察者は 2 人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を 3 人で振り返る。
- ④ 主張文についてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ワーク7

別紙のアウトラインマップを検討しましょう。

- ① 「主張文&理由づけ&証拠チェックリスト」を使って、アウトラインマップ内の主張文・理由づけ・証拠が適切に対応しているかをチェックする。
- ② アウトラインマップについて良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。

ロールプレイ3

別紙のアウトラインマップについて、以下の手順でロールプレイを行いましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役はアウトラインマップについて説明し、TA 役に相談する。観察者は2人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を3人で振り返る。
- ④ アウトラインマップについてアドバイスする際の注意点を挙げる。

Q&A

アウトラインマップについて、学習者から以下の相談を受けました。どのように対応すればよいのでしょうか？

- ① 新しい科学技術なので、論文が見つかりません。企業のサイトに書かれていることを証拠にしてもよいですか？
- ② 証拠と理由づけの違いがわかりません。
- ③ 主張文・証拠・理由づけが対応しているかどうかわかりません。

ワーク8

以下の手順で、学習者の詳細化アウトラインを検討しましょう。

- ① Manaba への提出物から詳細化アウトラインを3つ選んでダウンロードし、印刷する。
- ② セル内の内容、セル同士の関係が適切かを検討し、良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。

ロールプレイ4

ワーク8でダウンロードした詳細化アウトラインについて、以下の手順でロールプレイを行いましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役は詳細化アウトラインについて説明し、TA 役に相談する。観察者は2人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を3人で振り返る。
- ④ 詳細化アウトラインについてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ワーク9

以下の手順で、学習者の本論のパラグラフを検討しましょう。

- ① Manaba への提出物からパラグラフを3編選んでダウンロードし、印刷する。
- ② パラグラフ・ライティングになっているかを検討し、良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。

ロールプレイ5

ワーク9でダウンロードしたパラグラフについて、以下の手順でロールプレイを行きましょう。

- ① 学習者役、TA役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役はパラグラフについて説明し、TA役に相談する。観察者は2人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を3人で振り返る。
- ④ パラグラフについてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ワーク10

以下の手順で、学習者の標題・序論・本論・結論を検討しましょう。

- ① Manabaへの提出物からレポートを3編選んでダウンロードし、印刷する。
- ② 標題・序論・本論・結論の対応について良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA勉強会でピア・レビューする。
- ④ 標題・序論・本論・結論の対応についてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ロールプレイ6

ワーク 10 でダウンロードしたレポートについて、以下の手順でロールプレイを行きましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役はレポートの概要について説明し、TA 役に相談する。TA 役は、標題・序論・本論・結論の対応をチェックする。観察者は 2 人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を 3 人で振り返る。
- ④ 標題・序論・本論・結論の対応についてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ワーク 11

以下の手順で、学習者の引用表記・参考文献表を検討しましょう。

- ① Manaba への提出物からレポートを 3 編選んでダウンロードし、印刷する。
- ② 引用、参考文献表の書き方について良い点、問題点、修正案を書き込む。
- ③ TA 勉強会でピア・レビューする。
- ④ 引用、参考文献表の書き方についてアドバイスする際の注意点を挙げる。

ロールプレイ

ワーク 11 でダウンロードしたレポートについて、以下の手順でロールプレイを行きましょう。

- ① 学習者役、TA 役、観察者役に分かれる。
- ② 学習者役はレポートの概要について説明し、TA 役に相談する。TA 役は、引用、参考文献表の書き方をチェックする。観察者は 2 人のやりとりを観察し、気になる点をメモする。
- ③ やりとりの内容を 3 人で振り返る。
- ④ 引用、参考文献表の書き方についてアドバイスする際の注意点を挙げる。

Q&A

引用・参考文献表について、学習者から以下の相談を受けました。どのように対応すればよいのでしょうか？

- ① ネットで検索した文献の出典や作成日がわかりません。
- ② ××大学の先生のブログから引用してもよいですか？
- ③ 山本（2012）の論文の中に、「田中（1975）は~~~~」と書いているところがあり、その田中（1975）が書いていることを引用したいが、田中（1975）を見ることができません。「田中（1975）は~~~~」とそのまま書いていいですか？

3. 学習者への接し方を考えよう

Q&A

学習者には、さまざまなタイプの人があります。また、状況によっても対応の仕方は変わります。次のような場合、どのように対応すればよいのでしょうか？

- ① あまり進んでいない様子だったので、「大丈夫ですか？」と声をかけたら、「大丈夫です」と拒否された。
- ② 問題点を指摘したら、「先生はこれでいいと言った」と返された。
- ③ 講義やeラーニングで説明されたことを何度も質問してくる。
- ④ 「どうすればよいですか？」と質問してくることが多く、自分で考えようとしなない。
- ⑤ 質問してくる学習者が多く、一人一人に対応する時間を十分に取ることができない。
- ⑥ 授業中に、スマホを見たり、パソコンで違うことをしたりしている。
- ⑦ ペアワーク／グループワークの際、ほとんど会話をせず、すぐに終わってしまうペア／グループがある。
- ⑧ ペアワーク／グループワークの際、おしゃべりばかりしてワークが進まないペア／グループがある。
- ⑨ 知らないことを質問された。
- ⑩ アドバイスしたことが間違いであることが、あとでわかった。

※考えるためのヒント

- ・ たとえば、④では「自分で考えようとしなない」と決めつけていますが、本当にそうでしょうか？ もしかすると、その学習者は自分に自信がなくて心配なだけなのかもしれません。そんな学習者に「自分で考えてください！」という対応でよいのでしょうか？
- ・ あなた一人で解決しなくてもよいのです。同僚のTAと協力して対応してもよいのです。自信がないときは担当教員に相談しましょう。

付記

この TA ガイドブックは、TA 資質に関する調査¹の結果をもとに作成されています。調査結果によると、学習者が TA に対して重視する要素として「授業内容に関する知識」「学習者個別への対応」「学習者への励まし」「教室全体に対する対応」が挙げられています。

謝辞

このガイドブックは、公立ほこだて未来大学 2015 年度特別研究「TA ガイドブック（パイロット版）の作成」（研究代表者：富永敦子）の支援を受け、作成しました。心から感謝申し上げます。

公立ほこだて未来大学
TA ガイドブック
—2016 年度 科学技術リテラシ版—

2016 年 4 月 第 1 版

著者 富永敦子、椿本弥生、大塚裕子

¹ 富永敦子，椿本弥生，大塚裕子（2016）情報系実習授業において重視される TA の資質．教育システム情報学会研究会（印刷中）